

Consultants

変革の時代、建設コンサルタントの魅力と地位の向上にむけて



大本 修

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 会長

このたび、建設コンサルタンツ協会の第18代会長に就任しました大本 修です。建設コンサルタントは今、かつてない変革の時代を迎えています。私は、当協会並びに建設コンサルタント業界のより良い未来のため、全力で取り組む所存です。会員企業の皆様、発注者の皆様、そして関係各位におかれましては、引き続きのご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

変革の時代における建設コンサルタントの役割

建設コンサルタントを取り巻く環境は、近年大きく変化しています。災害の激甚化・頻発化、膨大なインフラストックの老朽化、少子高齢化の進行といった国内課題に加え、地政学リスクや経済安全保障への対応などの国際課題にも直面しています。また、DXの推進、生成AIの急速な進化など、私達の仕事の進め方に関わる技術は大きく進歩しています。

このように社会の変化が加速する中で、多様化する社会課題に柔軟に対応するため、建設コンサルタントは、インフラ整備に関する調査・計画・設計といった枠にとどまることなく、施工マネジメントや維持管理、防災・減災や復旧・復興支援、そして事業そのもののマネジメントやカーボン・ニュートラルの推進など、果たす役割、求められる役割がより拡大しています。

そういった中でも、私達は品質向上と技術力研鑽に努め、発注者の皆様と連携しながら、業務全体の質を高め、社会からの信頼を確固たるものとする必要があります。令和6年度の品確法改正では、働き方改革や処遇改善、災害対応力の強化、技術開発の推進などが盛り込まれました。高品質な社会資本整備を実現するために、協会としても新たな施策に取り組んでいきます。

「人」を活かし、魅力を向上させる

建設コンサルタントを支えているのは「人」です。高齢化が進み、若手の離職者が多い状況は深刻な問題です。長時間労働や柔軟性のない働き方はその一因と考えられ、協会では、発注者の皆様の協力を得ながら、所定外労働

時間の削減に取り組んでいます。

そして、建設コンサルタントを変えるのも「人」です。「建設コンサルタントビジョン2025」で示す「都市・地域が一体化した次世代社会」、「災害レジリエンスを備えた国土」実現の中核的プレイヤーとなるためには、より創造的な発想が生まれる業界となり、事業領域の更なる高度化、多様化を果たす必要があります。「DE&I（ダイバーシティ・エクイティ・アンド・インクルージョン）」を推進し、多様な人材が担い手となり、年齢や性別を問わず活躍し、技術力と創造力を発揮できる環境をつくりあげる。この取り組みは、建設コンサルタントの魅力を向上させ、業界の競争力向上にもつながると考えています。

協会としても、発注者の皆様との協働により、若手・女性・シニアなど多様な技術者の活用・育成のための入札契約制度の改善、会員企業におけるライフイベント休暇制度（出産、育児、介護など）や多様な勤務制度の導入など、より積極的に推進する所存です。

未来のために、地位を向上させる

建設コンサルタントは、我が国を支える重要な役割を担っているにもかかわらず、社会的認知度が低く、高度な技術への対価も十分とは言えません。成果物の知的財産権の取扱いや損害賠償責任上限の設定、準委任契約の導入など、解決すべき課題も多くあります。

協会として、建設コンサルタントの認知度向上のための戦略を検討するとともに、国土交通省や関係機関の皆様と協議を行いながら、品確法関連指針の確実な履行や成果物の利活用ルールの変改、待遇、報酬の改善といった当面の課題への対応を進めます。そして、建設コンサルタントの未来のために、地位を向上させるアクションプランを提言し、実行に移す予定です。

最後に、建設コンサルタントが魅力、地位を向上させ、事業領域を拡大しながら、更なる社会貢献を果たす業界となることを祈念して、会長就任の挨拶とさせていただきます。